

日本統計学会春季集会 2011 の報告

岩崎 学（日本統計学会理事長）

縄田 和満・佐藤 美佳（春季集会担当理事）

標記の集会が 2011 年 3 月 6 日（日）に立教大学（東京都池袋）で開催され、関係者のご協力により無事終了することができました。今回の集会では、4 つの口頭発表セッション「統計教育」、「金融データと時系列分析」、「統計研究の最前線」、「統計改革その後」があり、活発な議論が交わされました。

午前中の「統計教育セッション」（オーガナイザー・座長：竹村 彰通 氏）では、昨年 9 月に日本統計学会賞を受賞された三浦 由己 氏の講演が行われました。次いで、Lawrence Pettit 氏から王立統計学会の統計試験に関する講演、Joan Garfield 氏、Robert delMas 氏による米国における統計教育の講演があり、統計教育に関する興味深い話を伺いました。その後、昼休みを中心に学生・若手研究者を中心にポスターセッションが行なわれました。

午後は、まず、「金融データと時系列分析」（オーガナイザー・座長：渡部 敏明 氏）が行われ、藤井 光昭 氏、矢島 美寛 氏の日本統計学会賞受賞講演、次いで、石田 功 氏、竹内 明香 氏、大森 裕浩 氏によるファイナンスの最新理論に関する講演がありました。その後、春季集会では初めての試みですが、パラレルセッションとして 2 つのセッションが同時に開催されました。「統計研究の最前線」（オーガナイザー：縄田 和満、座長：岩崎 学）では、椿 広計 氏、栗木 哲 氏、下平 英寿 氏、奥井 亮 氏による日本統計学会各賞受賞者講演が行われ、受賞に関する最新の研究結果の報告がありました。「統計改革その後」（オーガナイザー：美添 泰人 氏、縄田 和満、座長：舟岡 史雄 氏）においては、統計の利用・その問題点などについて、小林 良行 氏、高見 朗 氏、浜砂 敬郎 氏から興味深い報告がありました。セッション終了後、懇親会が開催され会員相互の親睦をはかることができました。集会の参加者数は 205 名、懇親会参加者数は 61 名でした。

ポスターセッションも企画され、28 件の発表がありました。会場では、来場者との熱心な議論や学生同士の意見交換など交流がなされておりました。また、優秀な発表について、懇親会において表彰しました。優秀発表賞として、矢部 竜太 氏（一橋大学大学院経済学研究科 D1）、吉森 雅代 氏（大阪大学大学院基礎工学研究科 D1）の 2 名、学生優秀発表賞として、岩倉 相雄 氏（京都大学大学院経済学研究科 M2）、小川 光紀 氏（東京大学大学院情報理工学系研究科 M1）、小林 裕子 氏（筑波大学大学院数理物質科学研究科 M2）の 3 名が受賞し、懇親会会場にて竹村会長より表彰されました（氏名順序は、五十音順）（写真）。

春季集会の前々日 3 月 4 日（金）と 5 日（土）には、第 7 回 統計教育の方法論ワークショップが開催され春季集会のセッションと併せて統計教育に関する 3 日間の研究集会となりました。

最後に、このような集会の場をご提供頂いた立教大学に感謝申し上げるとともに、次

回 2012 年の春季集会（一橋大学、国立キャンパスで開催予定）への会員の皆様のご参加をお待ちしています。また、次回の春季集会では会員諸氏からのセッションのご提案もお受けする予定ですので、この点もよろしくお願いいたします。